

水田貯留(田んぼダム)の取組み検討

資料-4

平成25年8月の大雨において、市街地に甚大な浸水被害が生じた経験を踏まえ、流域治水対策の一環とした水田貯留(田んぼダム)を実施し、水災害を軽減させる。

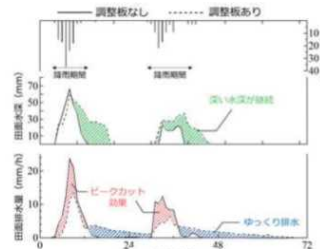
位置図



具体的な取組み内容

【事業の概要】

水田排水口への堰板の設置により、流出抑制を図り、下流域の洪水被害リスクの軽減を図る。



取組みのイメージ



平成25年8月の豪雨災害における被害状況

- ◇ 人的被害なし。
- ◇ 住家等、床上浸水151棟、床下浸水436棟
- ◇ 河川護岸決壊、法面崩壊、落橋、道路崩壊



岩崎川の氾濫により市街地が冠水(平成25年8月)

- ◇ 田んぼダム(水田貯留)の取組みを新たに行うもの。
- ◇ 圃場整備未実施や狭小区画など様々な条件の圃場も有ることから、試験圃場における実証を通じ有効な方法を選定するとともに、地域理解を醸成する。

田んぼダム(水田貯留)の取組工程(予定)

- ◇ 令和2年度 調査検討
- ◇ 令和3年度 一部モデルエリアでの実証、地域理解及び意識の醸成
- ◇ 令和4年度～ 普及拡大

【矢巾町田んぼダム実証事業に係る現地説明会の開催等】

- ◇ 目的 流域治水対策として、内水氾濫等に効果があるとされる田んぼダムの取組みについて、実証圃による現地説明会を行い、農業従事者の理解と協力の促進を図る。
- ◇ 日時 令和3年7月29日(木)午前10時から1時間程度
- ◇ 場所 矢巾町煙山地内実証圃場
- ◇ 内容 田んぼダム事業に関する概要説明及び流入量抑制器具設置状況の見学等

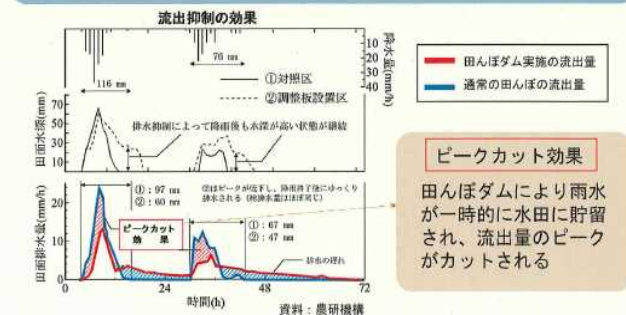
【現地説明会の状況】



- ◇ 現地説明会のほか、防災イベントや町の防災ラジオ「やはラジ」でもPRを実施。
- ◇ 「矢巾町田んぼダム事業のお知らせ」を発行し農業従事者や地域住民に配布。
- ◇ 取組意向調査の結果より貯水効果の高い地域を先行して普及拡大を検討。

田んぼダムとは

○ 河川や水路の水位の急上昇を抑え下流域の浸水被害リスクを低減させるため、流出量を抑制するための堰板や排水口を設置することにより、水田の雨水の一時貯留能力を高める取組をいう。



田んぼダムの実証を開始しました！

矢巾町では、煙山地域の水田において、2名の耕作者にご協力いただき、田んぼダムの実証事業を実施しています。



田んぼダムの効果は取組み面積に比例して大きくなっていきます。田んぼダムの普及・拡大には、農業者の皆様が、安心して（水稲の生育に影響がない！）負担なく（安価！ 管理がしやすく新たな手間が発生しない！）取り組めることが重要であると考えました。

排水口の調整器具で排水速度を抑制します！

設置先排水口↓



中央部が排水管、高さの調整が可能な可変構造となっており、中央の取手部分を掴み操作することにより水深を調整可能となっている。

取手部分は上部に出し、ふち部分で固定することにより、排水管内部への落下を防止。容器の深さは15cm程度であり、草等が詰まった場合には容易に除去可能。

器具をはめた状態↓



排水口部分への固定方法については、設置の手軽さと抑制効果のバランスを踏まえ検討。長期屋外使用による劣化の検証が必要。

「矢巾町田んぼダム事業のお知らせ第1号」矢巾町農業対策会議発行